

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 2 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県新潟市中央区東大通1-3-1
(INPEX 新潟ビルディング)氏名 株式会社 INPEX JAPAN
開発・生産本部 削井ユニット

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-364-1044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

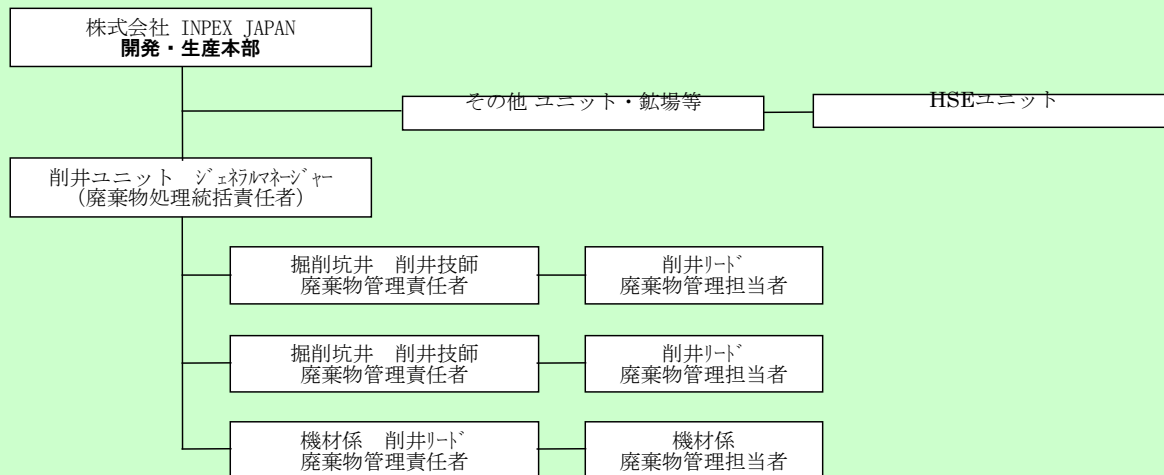
事業場の名称	株式会社 INPEX JAPAN 開発・生産本部 削井ユニット
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区東大通1-3-1(INPEX 新潟ビルディング)
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	原油・天然ガス鉱業
②事業の規模	石油・天然ガス、その他の鉱物資源の掘削
③従業員数	34人(令和7年5月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化 埋立処理業者へ委託 → 埋立・廃プラスチック類 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・金属くず 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・木くず 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・廃アルカリ 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・廃油 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・安定型混合廃棄物 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化・管理型混合廃棄物 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	
排出量	12,680.63 t	13.46 t	134.47 t	418.43 t	191.49 t	0.24 t	105.45 t	0.12 t	
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
排出量	33.33 t	t	t	t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

掘削作業に使用する泥水の作液へ調泥剤を使用するが、この調泥剤が入っている空袋（紙くず）、ポリ容器（廃プラスチック類）を再利用できる素材、容器へ一部変更。

【目標】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	
排出量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
排出量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

上記内容の更なる取り組みを予定。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
現状	上記種類毎に分別を実施している。								

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
計画	上記に加え、安定型混合廃棄物、管理型混合破棄物類についても分別を実施。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t								
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t								
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
汚泥は脱水を実施。									
【目標】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t								
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
安定型混合廃棄物									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t							
安定型混合廃棄物									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0.00 t							
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
①現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	12,680.63 t	13.46 t	134.47 t	418.43 t	191.49 t	0.24 t	105.45 t	0.12 t
②計画	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	33.33 t							
優良認定処理業者への処理委託量		12,680.63 t							
再生利用業者への処理委託量			13.46 t	134.47 t	418.43 t	191.49 t	0.24 t	105.45 t	0.12 t
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
安定型混合廃棄物									
優良認定処理業者への処理委託量									
再生利用業者への処理委託量		33.33 t							
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまでに実施した取組)									
委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。									

⑨ 計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず				
	全処理委託量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類	安定型混合 廃棄物											
	全処理委託量	0.00	t		t		t		t		t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
(今後実施する予定の取組)													
<p>可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 また、再生利用、熱回収が可能な廃棄物については再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。</p>													
※事務処理欄													

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 面 について

